

# PDCA(事務事業評価)チェックシート

実施年度	令和元年度		担当課名	福祉課
事務事業名	敬老事業			
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善	
<p>■目的</p> <p>老人福祉法に定める敬老の趣旨を十分に踏まえ、それぞれの地域の特色を生かしながら、多年にわたり社会の進出に貢献した高齢者に対し、感謝の意を表すとともに、敬老事業を地域で実施することにより、コミュニティ力の向上を図る。 また、高齢者施設や世帯を訪問するとともに、長寿祝金を支給する。</p> <p>■成果指標(アウトカム・KPI) ※</p> <p>【目標値】</p> <p>○敬老会への高齢者参加率 30%以上 (根拠) H30 参加率 26.94% 参加者数 1,819人 スタッフ数 1,038人</p> <p>H29 参加率 28.14% 参加者数 1,864人 スタッフ数 992人</p> <p>【達成値(R1実績値)】</p> <p>○敬老会への高齢者参加率 25.83% ・高齢者参加者数 1,776人 ・スタッフ数 983人</p> <p>開催箇所 実行委員会 7箇所 自治会 41箇所</p>	<p>■具体的取組</p> <p>○市内を10地区に区分し、地区単位又は各地区内の自治会単位で敬老会を開催。 ○80歳、88歳、99歳以上の高齢者に対して長寿祝金を支給。</p> <p>【支給額】</p> <p>満80歳 5,000円 満88歳 10,000円 満99歳以上 20,000円</p> <p>■インプット(投入金額等)</p> <p>事業費等</p> <p>○敬老事業 8,799千円 ・報償費 3,401千円 ・需用費 31千円 ・助成金 5,367千円 ○長寿祝金事業 5,616千円 ・報償費 27千円 ・需用費 14千円 ・扶助費(給付費) 5,575千円</p> <p>■アウトプット(数量等)</p> <p>実施回数等</p> <p>○敬老会開催地区 48箇所 ○長寿祝金 700人</p>	<p>■成果指標の具体的検証結果</p> <p>(インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載)</p> <p>25年度から27年度(3年間)の実施結果を受けて、今後の敬老事業の開催方法について、平成27年12月22日に敬老会事業検討会を実施した。検討会での意見交換の結果、参加率も徐々に増加し、地域内の交流や親睦が深まり、地域の高齢者の把握もできたなど、地域コミュニティ力の向上に繋がる建設的な意見が多かったことから、今後3年間(28年度～30年度)も引き続き現行の実行委員会方式又は自治会個別実施方式で実施することとなった。</p> <p>30年度に次年度以降3年間の敬老事業の実施について敬老事業検討会で協議を行なったが、意見が多く出て集約できなかったため、令和元年度は現行のまま実施し、次年度検討することとなった。</p> <p>令和元年12月に、敬老事業検討会と協議を行い、参加率が減少していること等について協議をしたが、次年度以降の開催方法等の変更までには至らなかった。</p>	<p>■検証結果を受けての具体的対応</p> <p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染症防止のため、敬老会を中止とした。 令和3年度以降については、敬老事業検討会で協議し内容等を検討していく。</p>	
<b>【事務事業評価】</b>				
<p><b>D</b> A:拡充 D:規模縮小 B:現状維持 E:廃止 C:要改善</p>				
<p>■理由</p> <p>敬老会の助成については、敬老事業対象者のうち①敬老事業参加者だけに助成がある。②参加率が減少傾向にある。③敬老事業実施時のスタッフへの負担が大きい。以上のことを総合的に判断すると、現状のまま事業を継続することは難しい。</p>				
<p>■今後の進め方(案)</p> <p>令和3年度以降の敬老会については、敬老事業検討会で協議する。市の方針としては自治会助成金に敬老事業分を上乘せし、自治会等による敬老事業を実施する。 ありがとう券配布についても、検討会で協議する。 達成目標年度：令和3年度</p>				

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。